

(2) 工事の時間的コストの低減

道路擁壁に切土補強土壁工法を採用し、コスト及び工期を縮減

中国地方整備局広島国道工事事務所 休山改良長迫改良工事

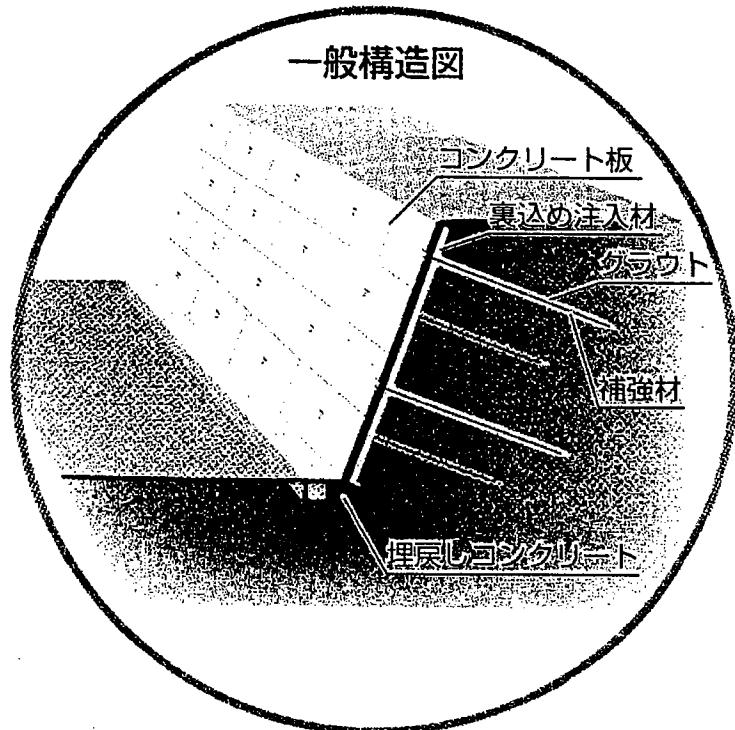
【施策の概要】

従来、切土部分の法面安定には、もたれ擁壁等が用いられていましたが、高い切土法面には断面が大きくなりすぎて不経済となり、大きな地耐力が必要となるなど、問題がありました。

今回の休山改良長迫改良工事においては、道路擁壁に切土補強土壁工法（通称 P A N W A L L 工法）を採用し、経済性と施工性を追求することとしました。

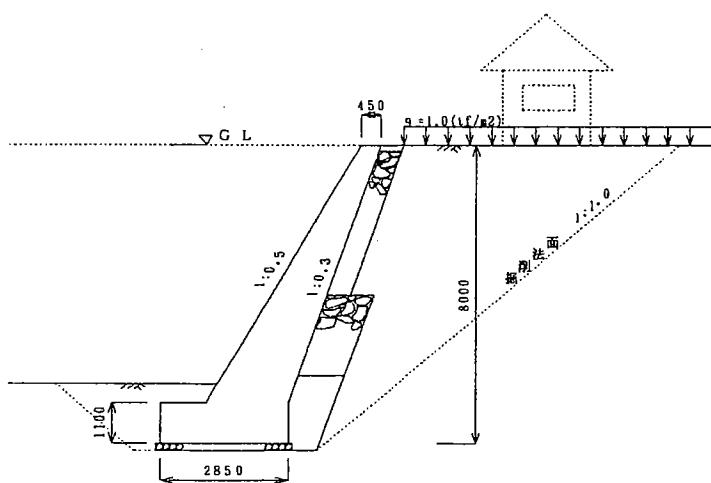
【施策のポイント】

- 構造物を上から下へ仕上げながら切り下がる「逆巻き」施工が基本で、余分な切土や埋戻し作業が発生せず土工数量が低減できる。
- 型枠工、足場工が基本的に不用で工期短縮と省力化が可能となる。



【工法比較図】

(従来工法) ※もたれ式擁壁



(PAN WALL工法)

